

本校について

(浜松市立開成中学校)

1 学校概要

高丘の地は、戦後の昭和21年に380戸の農家が「浜松開拓」に入植することで始まった。戦後の飛行7連隊の滑走路や爆撃演習場であった赤土の原野を開拓し、幾多の困難や試練を乗り越えて、作物の実る畑地に育て、生活を向上させてきた。



昭和29年、本田技研浜松製作所が誘致されて以来、広い土地にはその下請け工場が建ち始め、その後急速に発展を続け、オートバイ、自動車関係の工場が進出し、浜松有数の工業地帯となった。また、これに伴い住宅化も進み、人口が急増したため、大手スーパーマーケットや商店も建ち並び都市化が進展した。

平成10年完成した「高丘葵土地区画整理事業」により、道路・公園等が整備され、市内随一の近代的な美しい町として生まれ変わった。

2 校名の由来

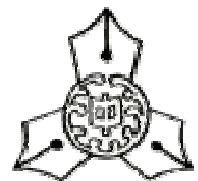
「開成」とは、易経にある「開物成務（人の未だ知らぬところを開発し、人のなそうとすところを成就すること）」という言葉から引用した。



この地の由来と地域の人々の希望をたくし、苦しみを乗り越え、人知を開いて物事を達成できる生徒の育成を目指す校風を育てる願いが込められて、「開成中学校」と命名された。

3 校章の由来

本校は昭和55年に北星中学校から分離したため、浜松市の市章にいだかれている「中」の文字は、北星中学校の校章にデザインされている文字をそのままいただいた。



また、三つのペンは、花川、瑞穂、葵が丘の三小学校区から通学する生徒の「団結・連帯感と友愛、協力」を表し、さらに「真剣に勉学すること」の象徴として定められた。

4 校歌

高らかに産声あげし高丘に
若人の血は燃え上がる
先人の歩んだ
開拓の台地をしっかりと踏みしめて
明日への希望に夢がわく

清い心とあつい情熱
友と語りともに競い
この学舎に磨き合う
ああ 開成 開成
開成の旗の下我ら進まん